平成28年度介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」研修課程(予定)　　受講見込み数：700名

日程・会場			時間		指導方法	研修科目	講師	科目のねらい	研修内容
	新潟 朱鷺メッセ	長岡 ハイブ長岡							
1日目	9月20日（火）	9月5日（月）	9:15～9:30	15分		開講、挨拶、オリエンテーション	事務局		・本科目の目的、習得目標の確認 ・研修記録シートを用いてそれぞれの目標を確認
			9:30～13:30	4時間	講義 1時間	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	新潟県職員 係長 駒見 幸子氏	・介護保険制度の最新の動向や、地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取り組みを理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。 ・地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度を理解する。	・介護保険制度の改正の最新状況 ・地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み及び課題 ・地域の社会資源を活用したケアマネジメントと地域包括支援センターとの連携 ・地域包括ケアシステムの構築に向けて介護支援専門員が果たすべき役割
					講義 3時間		燕市分水地区地域包括支援センター 管理者・主任介護支援専門員　佐藤　正枝氏		地域ケア会議の概要について（必要性と求められる5つの機能） 地域ケア会議の運営の実際と介護支援専門員の参加 ・運営の実際における事例研究の展開要素を押さえる ・自立支援の視点と多職種連携の視点 ・インフォーマルサービス活用の視点と地域づくりの視点 ・政策形成に向けた提言に関与する視点 振り返りの様子から未習得または強調するポイントを整理して伝える
			14:15～18:15	4時間	講義 1時間	ケアマネジメントにおける実践事例の研究および発表 ②-6　社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	新潟市地域包括支援センター石山 管理者　櫻井　馨氏	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、利用者が活用することが出来る制度に関する知識及び関係機関等との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を習得する。また、演習で得られた社会資源の活用に向けた関係機関との連携に係る示唆、留意事項等を踏まえ、他の事例にも対応することが出来る知識・技術を習得する。	・他の事例を活用するに当たり重要となる各種知識や関係機関、他職種との連携方法に関する講義　他の制度活用するケースを検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスを含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの講義 ・事例からサンプルを抽出し対応策の検討を行い一般化し、類似した事例への対応ができるような支援方法を検討する講義 ・事例検討
					演習 3時間				
2日目	9月21日（水）	9月6日（火）	9:15～13:15	4時間	講義 1時間	②-1　リハビリテーション・福祉用具活用に関する事例	柏崎総合医療センター リハビリテーション科 技師長 横田　剛氏	・リハビリテーションや福祉用具等の活用事例を用いて演習等を行うことにより、リハビリテーションや福祉用具等の活用に係わる知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。 ・また、演習等で得られたリハビリテーションや福祉用具等の活用に係わる示唆、留意点等を踏まえ、他の事例に対応することができる知識・技術を修得する。	リハビリテーションや福祉用具を活用するに当たって重要となる関連知識や歯科医・リハビリテーション専門職との連携方法等に関する講義を行う。 リハビリテーションや福祉用具を活用を検討するに当たり、効果的なものとなるよう、インフォーマルサービスを含めた社会資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う
					演習 3時間		介護老人保健施設てらどまり 理学療法士 渡部　綾子氏		事例検討
			14:00～18:00	4時間	講義 1時間	②-5　家族支援の視点が必要な事例	聖籠町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 宮下　美知子	家族システムの中の利用者をアセスメントでき、家族への支援の視点を踏まえた効果的なケアマネジメントの手法を習得する。	・家族の支援の必要性が高まった社会的背景 ・家族の定義、機能とシステム論に基づく家族アセスメント ・家族内外の状態や関係を理解するツールの活用法 ・家族内サブシステム（本人と家族の相互作用）の理解 ・社会資源としての家族、地域の中の家族、地域と家族と本人の相互作用の理解 ・家族のレスパイトケアと本人の自立支援の視点
					演習 3時間		燕市分水地区地域包括支援センター 管理者・主任介護支援専門員　佐藤　正枝氏		事例検討
3日目	9月27日（火）	9月14日（水）	9:15～13:15	4時間	講義 1時間	②-2　看取り等における看護サービス活動に関する事例	新潟臨港病院訪問看護ステーション 管理者　中川　恵子	・看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義、演習を行うことにより、看護サービスの活用にかかる知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。 ・演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識、技術を修得する。	看取りに関する知識基本的理解 ・看取りを取り巻く動向　・社会資源とその活用について　・終末期ケアについて ・在宅看取りについて　・安定期から看取りまでの過程 ・死の迎え方への希望を含む利用者の意思確認の方法　・利用者と家族の心理状況 ・疼痛緩和について　・ケアマネジメントの各プロセスにおける留意点
					演習 3時間		訪問看護ステーションつくし 所長　今出　晶代氏		事例検討
			14:00～18:00	4時間	講義 1時間	②-4　入退院時等における医療との連携に関する事例	西新潟中央病院 地域医療連携部　在宅支援係　看護師 伊部　まりこ氏	・入退院時における医療との連携に関する事例を用いて講義、演習を行うことにより、医療との連携に必要な知識及び医療との連携を踏まえた効果的なケアマネジメント手法を修得する。 ・演習等で得られた入退院時における医療との連携に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識、技術を修得する。	入退院に関する知識と基本的理解 ・入院時の連携　・入院中の連携　・退院に向けた連携 ・ケアマネジメントの各プロセスにおける留意点　・医療機関における書類等の知識、及びCMの情報としてどのように扱うかの留意点 ・県の医療体制に関する情報（医療介護連携支援センター等の情報を含む）
					演習 3時間		訪問看護ステーションつくし　所長 今出　晶代氏		事例検討
4日目	9月28日（水）	9月15日（木）	9:15～13:15	4時間	講義 1時間	②-3　認知症に関する事例	ちゅーりっぷ苑 副苑長 新野直紀氏	認知症に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、認知症に関する知識及び認知症の要介護者等に有効なサービスを活用したケアマネジメント手法を修得する。また、演習等で得られた認知症の要介護者等に対して有効なサービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。	認知症に関する知識基本的理解 ・認知症の基礎知識の確認　・認知症の原因疾患以外の疾患の影響について ・利用者本人、家族の意向の確認　・家族の介護状況の把握及び支援方法 ・認知症の適切なアセスメントと地域の社会資源を活用したケアマネジメント （ア）適切なアセスメントの視点　（イ)地域の社会資源の活用
					演習 3時間		グループホーム仲町センター長 池田兼一氏		事例検討
			14:00～18:00	4時間	講義 1時間	②-7　状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	グループホーム仲町センター長 池田兼一氏	状態に応じた多様なサービス{地域密着型サービス、施設サービス）の活用に関する事例を用いて講義・演習を行うことにより、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びケアマネジメントの手法を修得する。	多様なサービスとして、地域密着型と施設サービスについての特徴や期待できる効果を説明し、利用者の状態における具体的な活用方法を理解する ・その他、介護保険制度改正によるサービス機能の拡充やそれに伴う加算状況説明し、現状を踏まえた多様なサービス提供について情報提供する 状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）活用にあたり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域資源を活用したケアマネジメントの展開に関する講義を行う
					演習 3時間		つばめ福祉会 総合在宅福祉サービス統括長 池内　明氏		事例検討